

話題提供：最近よく耳にする言葉

2013. 10. 25

栗 田

4. 東日本大震災や原発関連から

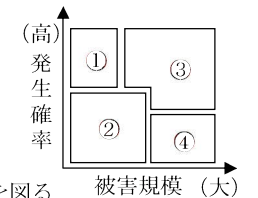
【リスク管理と危機管理】

リスク管理：事故や危機がなるべく起きないように対処する活動

危機管理：事故や危機的な状況が発生した後の活動

リスク対策

- ・リスク保有 ① 発生確率が高いが被害規模が小さい
- ・リスク低減 ② 設備投資や教育訓練などによりリスクの低減を図る
- ・リスク回避 ③ リスクレベルが高く、改善策がない
- ・リスク移転 ④ 発生確率が小さく、被害規模が大きい（保険加入など）



【アカウントビリティ】

Accountability（説明責任）とは、政府・企業・団体・政治家・官僚などの、社会に影響力を及ぼす組織で権限を行使する者が、株主や従業員（従業者）、といった直接的関係をもつ者だけでなく、消費者、取引業者、銀行、地域住民など、間接的に関わりを持つすべての人・組織（ステークホルダー、利害関係者）にその活動や権限行使の予定、内容、結果等の報告をする責務があるとする考えをいう。  
環境アカウントビリティ、社会資本のアカウントビリティなど。

【環境アセスメント】

大規模工業地の造成や、都市開発などを行う場合に、その結果として自然環境に与える影響を事前に調査すること。環境影響評価法（1997.6公布）により、必ず環境アセスメントを実施しなければならない第1種事業と、実施するか否かの判定手続きを伴う第2種事業が定められている。  
→海岸の埋立て・道路・空港・ダム・鉄道・都市開発のうち規模が大きく環境に影響を与えかねないものを対象（具体には環境影響評価法施行令で定める）。

5. その他

【インセンティブ（Incentive）】

人々の意思決定や行動を変化させるような誘因。（奨励・刺激・報奨のなど）  
物質的・評価的・人的・理念的・自己実現インセンティブに大別される。  
その根底には、マクレガーによるX理論（性悪説）とY理論（性善説）が存在。  
現代の組織運営では、Y理論に基づいたやる気を引き出す管理が適していると言われている。

1. 天井板落下事故

【設備保全】

- 事後保全 故障停止または有害な性能低下に至ってから修理を行う保全方法
- 予防保全 設備の点検などによる予防に重点を置いた保全方法
- 改良保全 同種の故障が再発しないように改善を加え、設備上の弱点を補強する
- 保全予防 設備を新しく計画する段階で、保全活動の情報や、新しい技術を取入れ設計段階から信頼性の高い設備を構築すること。

2. T P Pでは日本が議長国

【知的財産権】

種 別	対 象	保護期間	
工業 所有 権	特許権	自然法則を利用した新規性のある発明	出願から 20年
	実用新案権	物品の形状・構造・組合せに関する考案	出願から 10年
	意匠権	形状・模様・色彩に関するデザイン	登録から 20年
	商標権	商品・役務に使用するマーク	登録から 10年
著作権	文芸・学術・美術・音楽の範囲に属するもの	著作者死亡から50年	

3. 少子高齢化など

【ナレッジ マネジメント】

- ビジネスの目的を達成するためにナレッジ（＝知と解されデータ、情報、知識、知恵などをいう）を共有、活用できるように管理する手法。（技術やノウハウの継承）
- 形式知： 客観的に捉えることが可能、文章や図表での表現が容易  
マニュアル・レポート・手順書など
- 暗黙知： 主観的で経験に基づく、言語化や形式化が難しい  
力の入れ具合・営業ノウハウなど
- 個人知： ひらめき・経験・人脈      組織知： マニュアル・事例集
- 埋設知： 製品や業務プロセスに含まれるナレッジ

【教育訓練】

- J T（On-the-Job Training） 上司や先輩などの指導で、職場で働きながら行う
- F F-J T（Off-the-Job Training） 職場から離れた外部の研修会などが対象